

表7-3 校正業務・支所別担当分担計画

量・分野	NML		NCL		
	R&D	CAL.	Shah Alam	Penang	Johor
長さ	◎	△	○	○	○
質量	◎		◎	○	○
力	◎	△	○	△	△
圧力	◎	△	○	△	△
体積・流量	◎	△	○		
温度	◎		◎	○	○
電気量					
電圧・抵抗	◎		◎	○	○
AC&LC	◎		◎	○	○
高電圧・電流	◎				
電力	◎		◎	○	○
光・測光	◎	○			
磁気	◎	○			
時間・周波数	◎	△	○	○	○
音響	◎	○			
高周波・マイクロ波	◎	○			

NML

- ◎ 標準の維持管理を実施する
- 標準が確立されるまで、校正業務を実施する
- △ 一部の校正業務を実施する

NSL

- ◎ すべての校正業務を実施する
- 部分的に校正業務を実施する
- △ 将来的には校正業務を実施する

表7-4 NCL-SA校正室別条件

	床面積(㎡) (拡張分)	温度、湿度	機材総額 (千円)	床面補強	位置	必要照度	電磁シールド	クリーン度	防振構造	その他
長さ	192 (+96)	20±1.0 °C、60±5%	-	◎	1 F	1000 ℓ/s	-	◎	◎	
質量	192 (+96)	23±0.5 °C、60%以下 (精密測定室)	10,000	◎	1 F	1000 ℓ/s	-	◎	◎	
		23±1.0 °C、60%以下 (一般測定室)								
力・圧力	144(±0)	23±2.0 °C、60%以下	40,000	◎	2 F	1000 ℓ/s	-	-	-	
体積・流量	144(±0)	23±2.0 °C、60%以下	8,000	◎	1 F	1000 ℓ/s	-	-	-	
温度	144(±0)	23±2.0 °C、55±5%	-	-	1 F	1000 ℓ/s	100 μV/m	-	-	
電気量	480(+192)	23±2.0 °C、60%以下	190,000	-	2 F	1000 ℓ/s	100 μV/m	-	-	アース(1Ω)

表7-5 NCL-P, NCL-JB校正室別条件(床面積、機材総額は1支所当たり)

	床面積(m ²)	温度、湿度	機材総額 (千円)	床面積補強	位置	必要照度	電磁シールド	クリーン度	防振構造	その他
長さ	96	20±1.0℃、60±5%	50,000	◎	1 F	1000 lx	-	◎	◎	
質量	96	23±0.5℃、60%以下 (精密測定室)	50,000	◎	1 F	1000 lx	-	◎	◎	
		23±1.0℃、60%以下 (一般測定室)								
力・圧力	96	23±2.0℃、60%以下	20,000	◎	1 F	1000 lx	-	-	-	
温度	48	23±2.0℃、55±5%	5,000	-	1 F	1000 lx	-	-	-	
電気量	192	23±2.0℃、60%以下	45,000	-	1 F	1000 lx	100 μV/m	-	-	アース(1Ω)

図7-1 国家計量委員会の構成

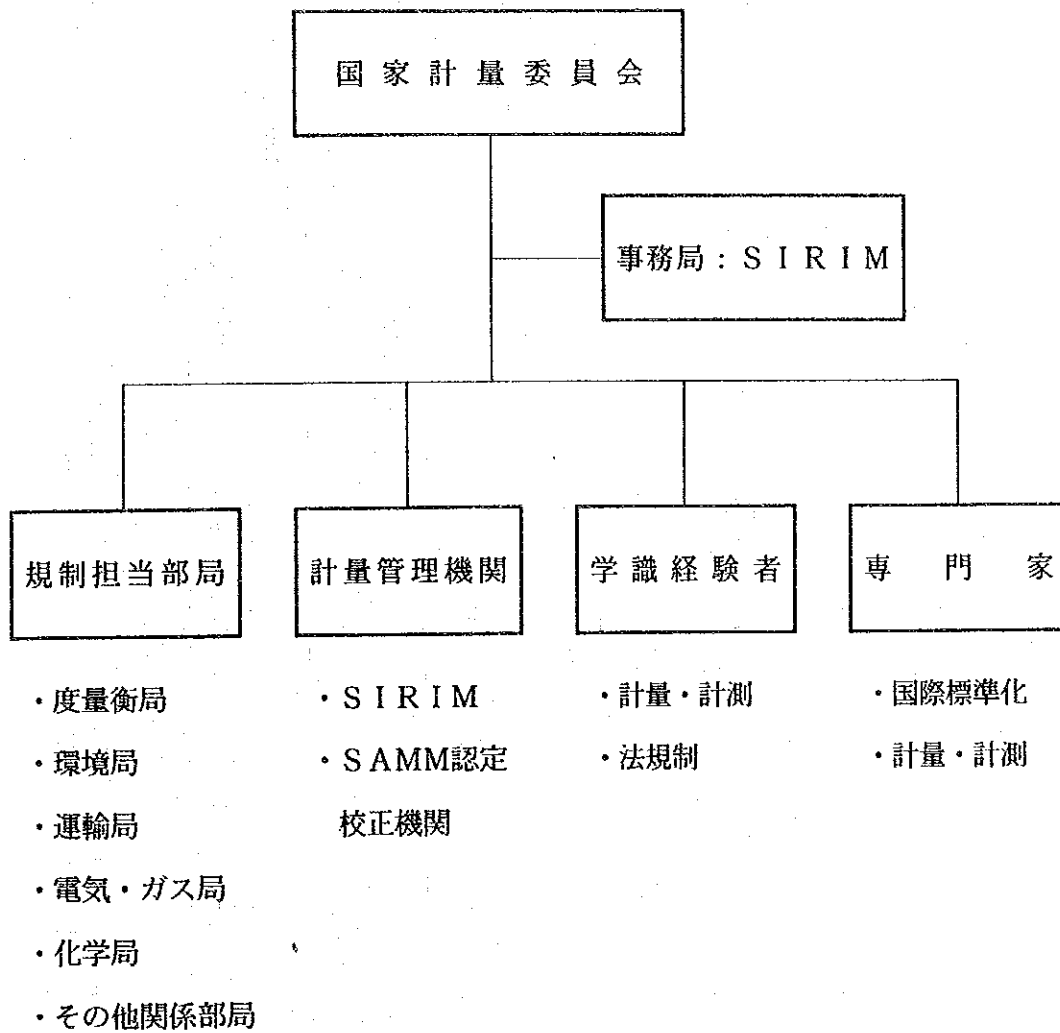
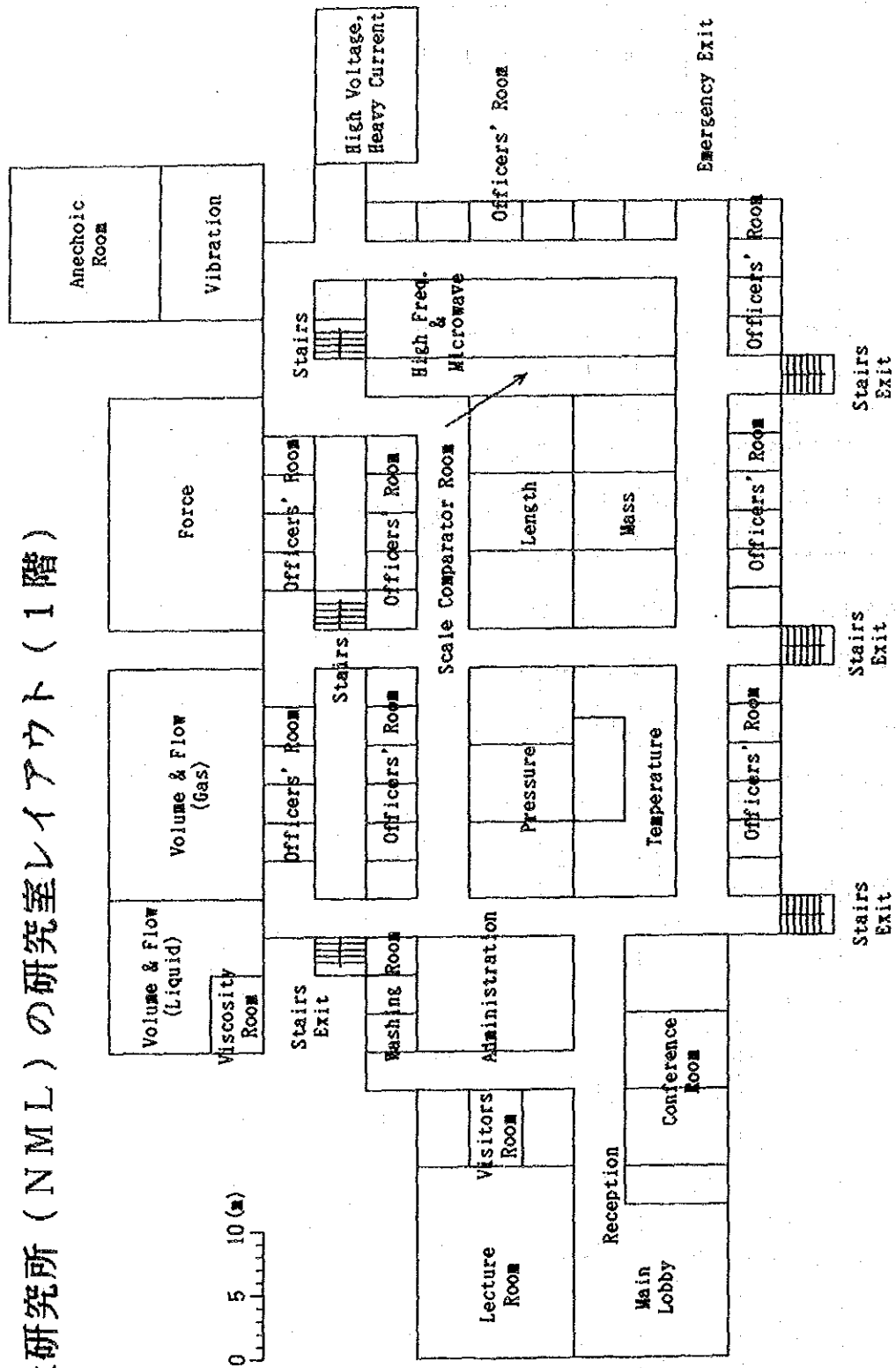


図7-2
 国家計量研究所 (NML) の研究室レイアウト (1階)



国家計量研究所 (NML) の研究室レイアウト (2階)

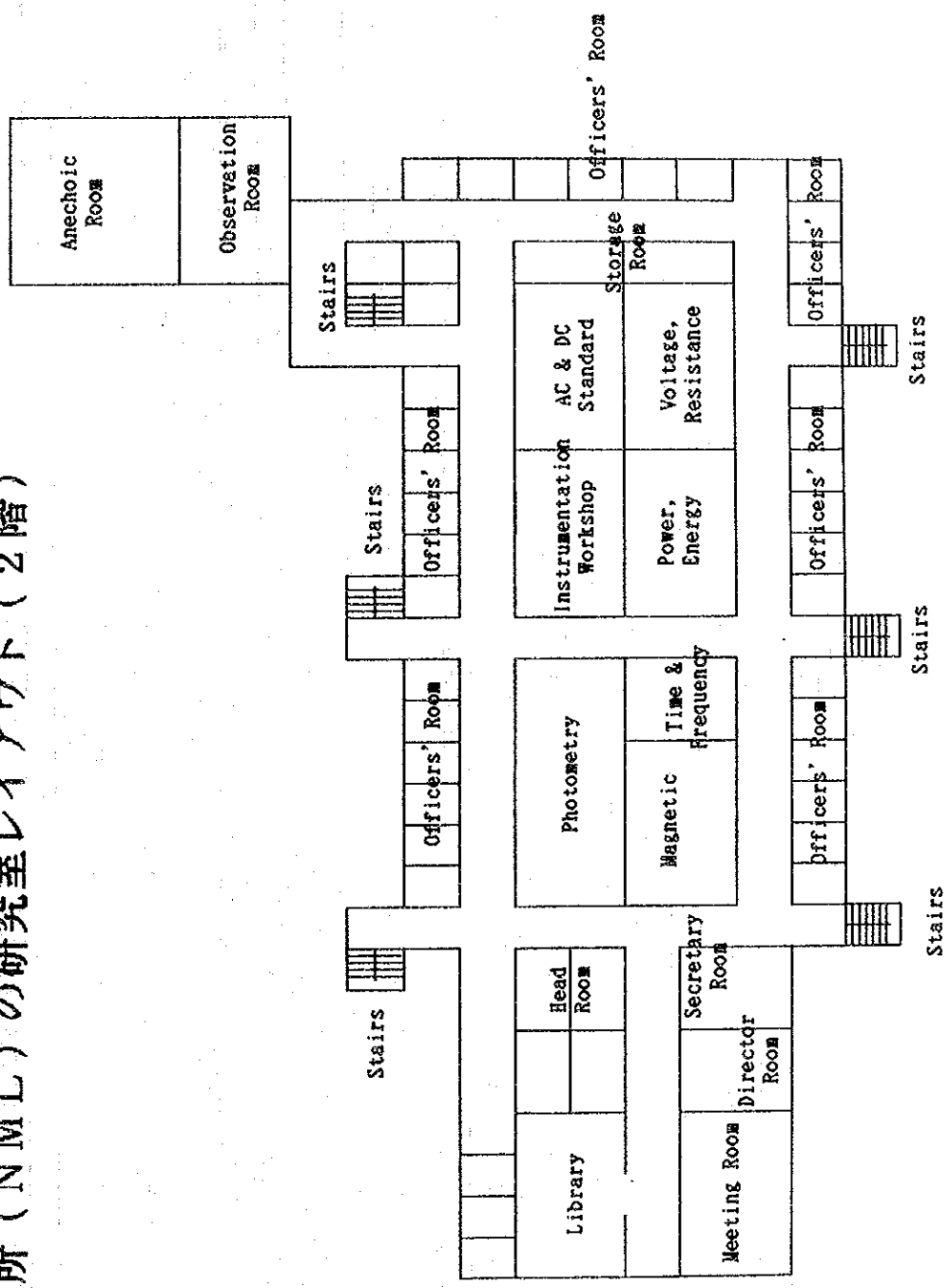


図7-3 実施計画

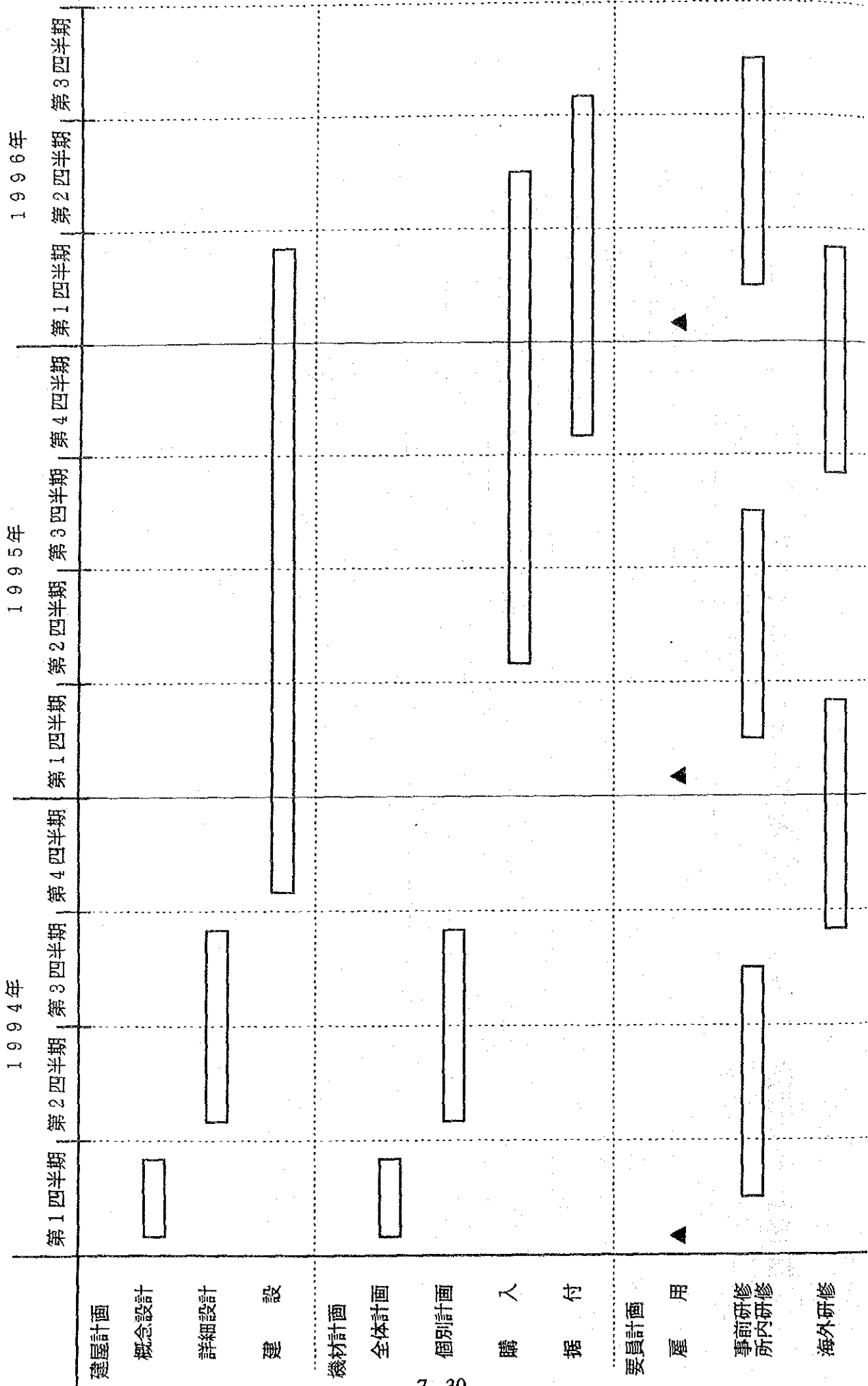
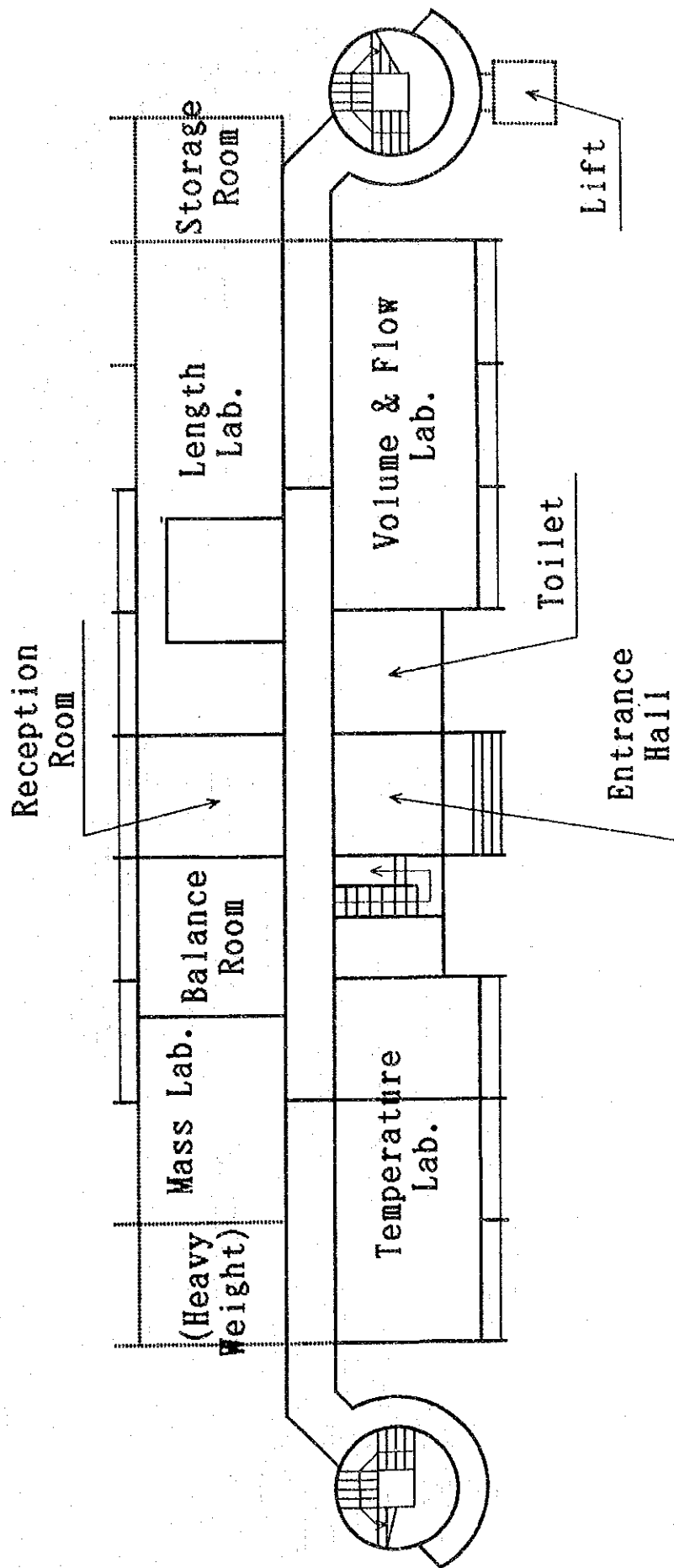
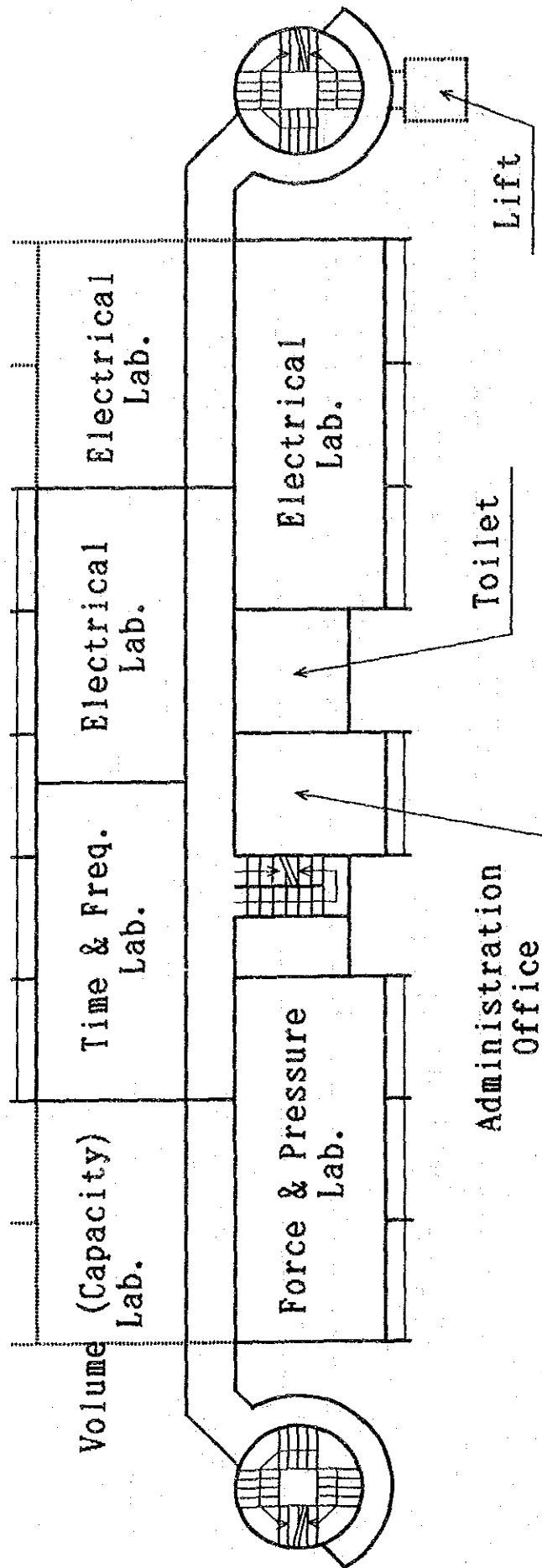


図7-39 NCLの研究室レイアウト(1階)



NCLの研究室レイアウト (2階)



NCLの研究室レイアウト (3階)

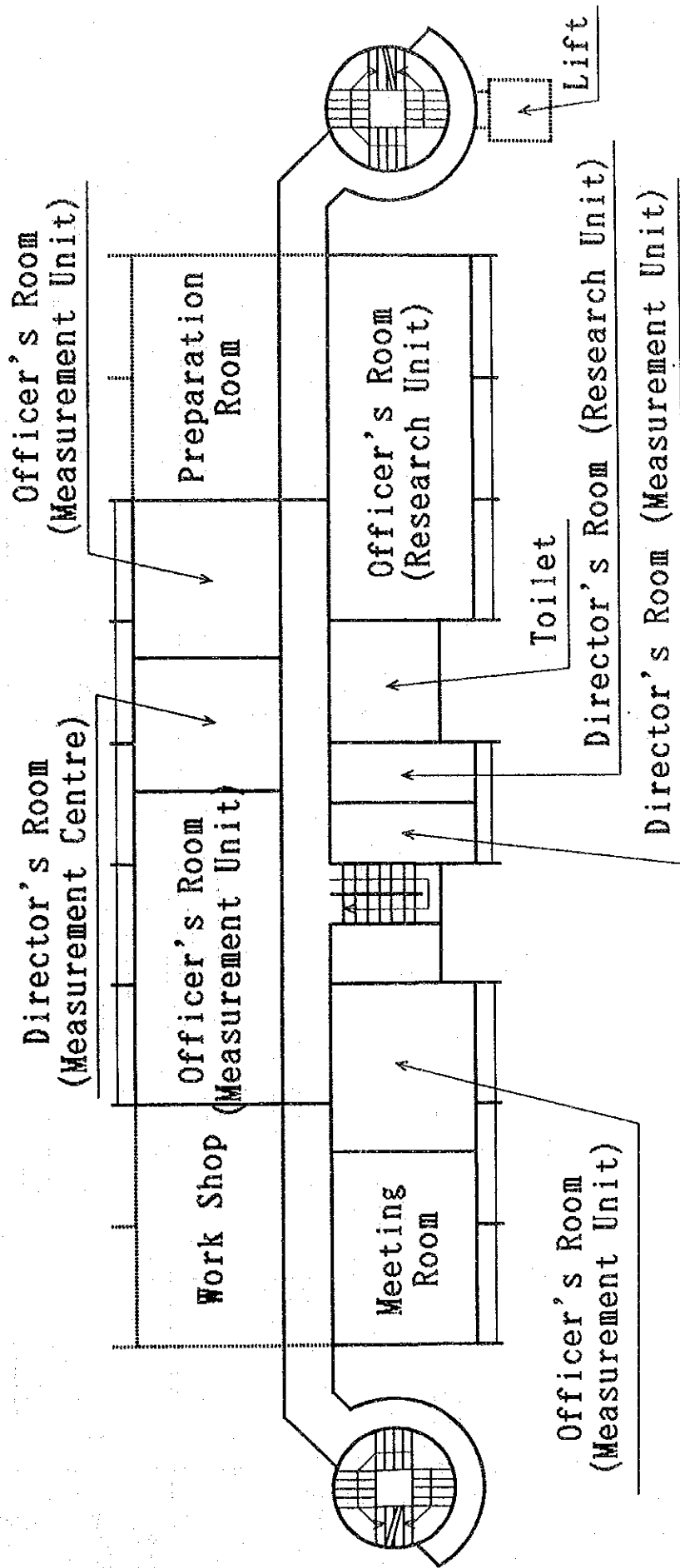
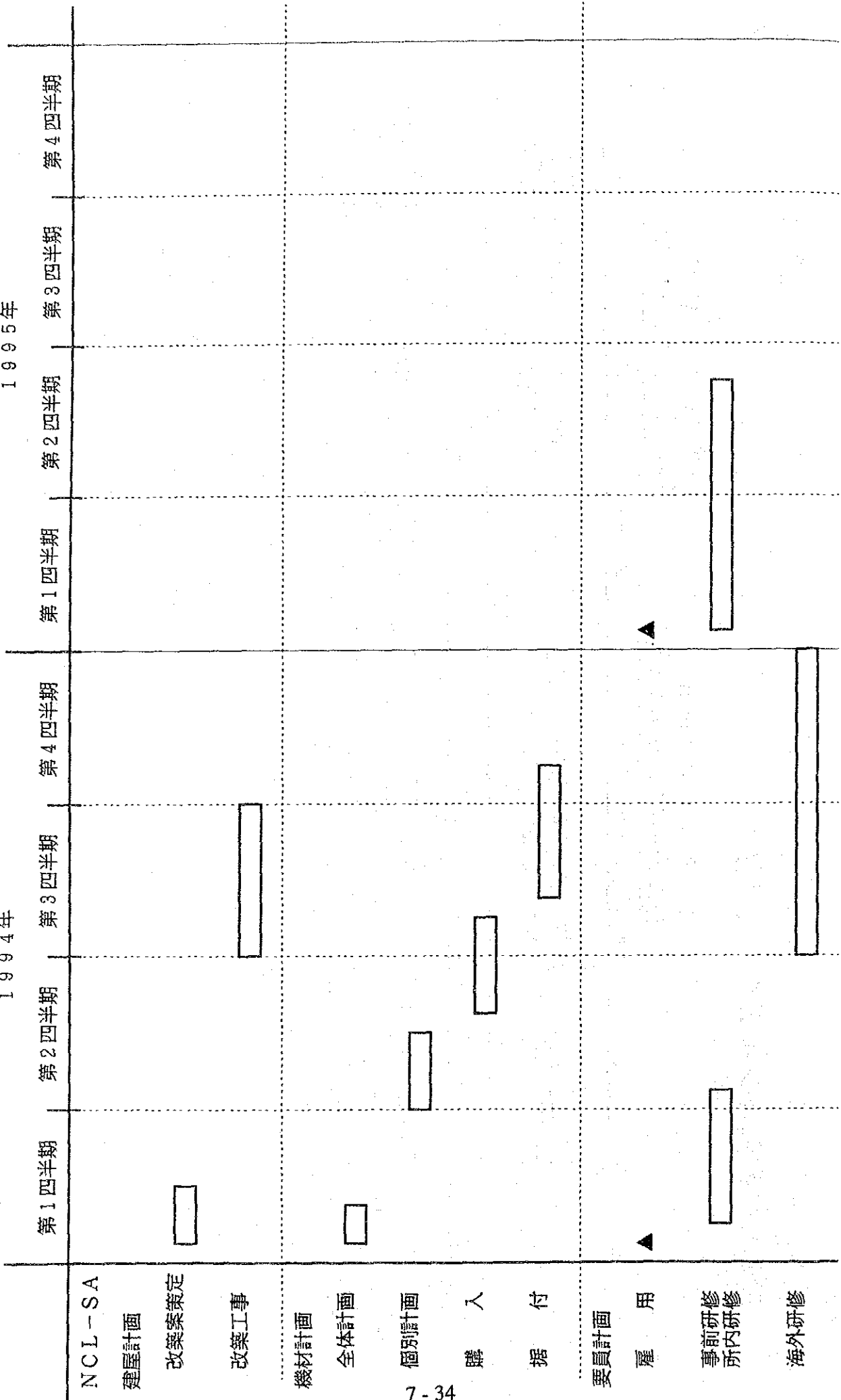


図7-5 実施計画

1995年

1994年



1995年

1994年

第4 四半期

第3 四半期

第2 四半期

第1 四半期

第4 四半期

第3 四半期

第2 四半期

第1 四半期

NCL-P

建屋計画

概念設計

詳細設計

建設

機材計画

全体計画

個別計画

購入

据付

要員計画

雇用

事前研修
所内研修

海外研修



1995年

第4四半期

第3四半期

第2四半期

第1四半期

1994年

第4四半期

第3四半期

第2四半期

第1四半期

NCL-JB

建屋計画

概念設計

詳細設計

建設

機材計画

全体計画

個別計画

購入

据付

要員計画

雇用

事前研修
所内研修

海外研修



JICA